

伊那食品様・菓匠shimizu様編

日付	時間	行程	備考
29日	15:00~ 17:30	各自ホテルチェックイン	15:00よりチェックインできます。 フロントにてお名前をお伝えください。
	18:00~	ロビー集合・夕食	レストラン「メープル」にてバイキング形式。 お飲物は実費のご精算をお願い致します。
	19:30~	ラウンジにて懇親会&寛司さんと 座談会	こちらでのご飲食は実費の ご精算をお願い致します。
30日	6:30~	朝食(各自)&チェックアウト &各自移動 (車で20分前後)	レストラン「メープル」にて バイキング形式の朝食です。
	7:30	伊那食品様集合	伊那食品様到着場所、集合場所は ホテルにてお伝え致します。
	7:45~	朝掃除・朝礼見学	
	9:00~	塚越副社長講話	
	10:30~	社員との座談会	コーディネーター寛司さんによる 質疑応答形式です
	12:00~	かんてんぱぱガーデンにて ランチ&散策	昼食後から出発時間迄、ガーデン内を 自由に散策して頂けます。
	13:30~	各自 菓匠shimizu様へ移動 (車で20分前後)	
	14:00~	清水社長の講話	菓匠shimizuさんのお茶とケーキを いただきながら行います。
	15:00前後	現地解散	お気をつけてお帰り下さい。

① 夕食

「ここは凄く評判良いんだ」寛司さんから何度も聞いていたホテルバイキング。期待のハードルを上げたまま臨んだのですが。。。凄いです！想像以上。



特に肉好きにはパラダイス☆

「翌日早朝からなので、呑みは控えめに！」とお伝えしたのも聞こえないようでした。満足度いっぱい、ツアー最高のスタートでした！

② 懇親会&座談会

夕食の流れで緩やかに始まった懇親会&座談会。「今回皆さまが感じるべきは、空気感です。」寛司さんから明日に臨む心構えを伝授頂きました。

③ 伊那食品様朝掃除・朝礼見学



マイナス2度のキリリとした早朝。笑顔いっぱいの説明・誘導頂きながら朝掃除を見学しました。社員の皆さまが柔和で楽しみながら、互いに声をかけあって掃除を行う姿勢が印象的でした。



広大な敷地を、プロに頼らず社員全員で試行錯誤しながら掃除をする。プロ仕様の道具もズラリと揃っていました。そして社員の数以上のほうき。「ほうきがないから掃除できない」等の言い訳はあり得ない。自主性を重んじる為の「仕組み」も勿論大事、そちらも万全でした。



美しい場所にしか育たず、お世話しなければ成らない「苔」を育てる。目指すは「苔むす会社」。



時間になると小走りで集まる社員。日替りで担当する3分間スピーチに聞き入り、業務連絡の後NHKラジオ体操のお姉さん仕込みの体操第2。それからグループミーティング。



ふと置いてある傘経ての傘。柄の方向が揃っているのは当たり前。

企画・運営

飲食専門 CSアップ&集客スペシャリティ (株)エイム・トゥ お問い合わせ 048-650-6960

埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-133-1ワンライトビル4F

E-MAIL seminar@aim-to.co.jp

検索 エイム・トゥ

伊那食品様・菓匠 shimizu 様編

④ 塚越副社長講和、社員さんの座談会



清々しい会議室で、塚越副社長による講和と伊那食品社員さんによる座談会が開かれました。

「いい会社をつくりましょう。」とはどういう事か。究極の自主性とは。自主性を重んじる裏に必要な仕組みとは。本当の習慣化とは。性善説で営む経営とは。いい組織とは。あるべき上下関係とは。成熟した先の自然体とは。副社長と社員の皆さまのお話から、参加者はそれぞれ懸命に紐解いているようでした。

ツアー参加者達の学びとろうとする意欲的な姿勢、熱意が溢れていました。その中で飛び交う唐突な質問にも、伊那食品社員の皆さまは誠実に好意的に回答されていました。真剣かつ笑い声の絶えない、すてきな時間を過ごせました。ありがとうございます。

⑤ ランチ 自由時間

その後、かんてん料理盛りだくさんのお弁当を頂き、各自休憩。自由時間のショッピングに、両手に抱えきれないお土産を持っておられる参加者の方々。時間通りに足取り軽く次の場所へ。揃ってほがらかな表情は、伊那食品さんから頂いた一番のお土産でしょうか。



⑥ 菓匠 shimizu 様 講和



まず「大久保カット」と命名されたロールケーキとお茶を頂きます。寛司さんと一緒に来なければ出てこない特別の厚切りですが、みなさん一気に食べ終わってしまいました。それから行われた清水社長の講和。「人間性を高めるにはここでは何してる?」と切り込んだ寛司さん。「パティシエの前に社会人として、社会人の前に人間として。自分が一番その勉強中です。」と笑顔で気負いなく語られる清水社長に、参加者一同引き込まれました。



清水社長はお婆様に「はたらくは、傍を楽にすること。」と教わったそうです。自分の為だけに働いていた自分を「つまらん者」だとある日気付いた。そこからの勝負のストーリーに一同笑いました。続いてスタッフの方がお話しされました。「両親に、生んでくれてありがとう」と伝えるのが入社試験。その試験が紡いだエピソードに、参加者一同涙が。。。そしてまた涙。面白くて、笑えて、感動して、おいしくて、涙がとまらなくて。皆さま心が忙しかったです。参加者皆さまの豊かな表情を見て、ツアーを主催して良かったと、心から思える時間でした。ありがとうございます。